日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料９

「ICMA & JSDA サステナブルボンド・カンファレンス」の模様について

日本証券業協会

10/4は証券投資の日

1．2024年カンファレンスの概要等

本協会では、グリーンボンド市場等の動向について日本市場関係者の理解を深め、日本市場の課題等を探る機会として、2017年より毎年、**国際資本市場協会（ICMA）との共催カンファレンス**を開催している。

８回目となる本年度は、サステナブルボンド市場が先進国を中心に相当程度醸成してきていることなどを踏まえ、サステナブルボンドやICMA原則がもたらした成果等を振り返りつつ、**サステナブルボンドを通じた持続可能な社会・経済全体の移行（Economy-Wide Transition）の実現に焦点を当てたカンファレンスを、ハイブリッド形式により開催した。**

また、**カンファレンス前日には、発行体や市場関係者等の実務担当者を対象とした、ICMAスタッフによる実務研修（エグゼクティブ・トレーニング・コース）をオンライン開催した。**

日程	**2024年11月22日（金）10時00分～18時00分（日本時間）**
タイトル	ICMA & JSDA Annual Sustainable Bond Conference 2024 -Enabling Sustainable Society / Economy-Wide Transition through Sustainable Bonds （サステナブルボンドを通じた持続可能な社会・経済全体の移行の実現）-
会場	ザ・キャピトルホテル 東急（及び Zoomによるウェビナー）
共同主催者	国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association※）、日本証券業協会
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等 登録者数：682名（対面 312名、オンライン370名）

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体（本拠地：チューリヒ）。本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、本カンファレンスのほか、日本証券サミット（計5回＜いずれもロンドンでの開催分＞）も共催している。

2．カンファレンスにおける主な発言・ポイント等

【サステナブルファイナンス】

- サステナブルファイナンスは、環境・社会課題の改善を通じて経済活動の基盤を強化し、経済社会の成長・持続可能性を高めるものであり、投資家にとっては長期的な投融資ポートフォリオの価値を守り、高めるという点で意義があるという考えの下、政府としてこれまでその推進に取り組んできた。**サステナビリティ投資を含む運用対象の多様化や、脱炭素化含むGXなど、まだ十分に発達の余地がある分野への資金供給の促進など、引き続き、サステナブルファイナンスの推進にしっかりと取り組んでいく**。

【トランジションファイナンス】

- **トランジションファイナンスは、この1年で日本でもグローバルでも大きく注目を集めるテーマとなった**。
- アジア市場においても、投資家は、パリ協定の目標を達成するためには、削減が難しいセクターを支援する必要があることを理解し、トランジション評価をモデルに組み込んでいる。
- **日本政府の目標は排出削減、経済成長、エネルギーの安定供給という三重のブレークスルーを達成することである**。このミッションをグリーン産業構造転換、またはGX政策と呼び、今年2月、世界初のソブリンとしてクライメートトランジションボンドを発行した。

【グリーンファイナンス】

- **グリーンファイナンス市場においてグリーンプロジェクトに寄与する事業の資金調達を促進することは、脱炭素に留まらず、様々な環境課題の解決を加速するために重要**と考える。そのため、今年6月ICMAから発表されたグリーンエネーブリングに係るガイダンスは、そうしたプロジェクトへの資金調達における重要なポイントや考え方を示しており、多くの示唆のあるガイダンスである。このガイダンスの策定と公表に尽力したICMAの努力に敬意を表したい。

【ステークホルダー行動規範】

- 債券投資部門では、昔からESGインテグレーションを行っており、クレジットリスクに付随する情報として、ESGの評価を自ら行ってきたという歴史がある。長期で考えれば、債券運用においてもESGを考慮することによってリスクリターン特性を改善していくことができるということが一つの信念になって債券の運用を行っている。行動規範に関しては、ESG評価のクオリティを問うわけではなく、クオリティを担保できるような体制になっているかとの視点を有している。

3．2024年カンファレンスのプログラム

10:00	**Welcome remarks** 森田 敏夫（日本証券業協会 会長）
10:05	**Introductory remarks** 井藤 英樹氏（金融庁 長官）
10:15	**Panel 1: Transition Finance : market development and standards** モデレーター 林 礼子氏（BofA証券 取締役副社長, ICMA 理事） パネリスト Chaoni Huang氏（Managing Director, Head of Sustainable Capital Markets, Global Markets APAC，BNP Paribas） 森下 修氏（みずほ証券 サステナビリティ推進部長） 高田 英樹氏（GX推進機構 理事（財務・サステナビリティ推進担当）） 佐藤 伸樹氏（財務省 理財局 国債企画課長）
11:15	コーヒーブレイク
11:40	**Guest Speech 1** Ulf Erlandsson氏（CEO and Founder, Anthropocene Fixed Income Institute）
11:50	**Leadership Dialog：Sustainable finance regulation and policy** モデレーター Mushtaq Kapasi氏（Managing Director, Chief Representative, Asia-Pacific, ICMA） パネリスト Michael Duignan氏（Executive Director, Hong Kong Securities and Futures Commission） Muhammad Hakim bin Abdul Hamid氏（Deputy Director, Bond Market Department, Securities Commission Malaysia） Pradeep Ramakrishnan氏（Executive Director, International Financial Services Centres Authority of India） 鬼塚 貴子氏（経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 環境金融室長）
12:30	ランチブレイク
13:50	**Guest Speech 2** Eugene Wong氏（CEO, Sustainable Finance Institute Asia）

3．2024年カンファレンスのプログラム

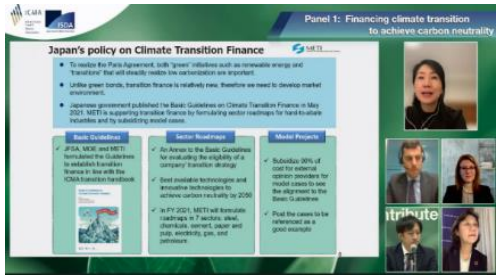
14:00	**Panel 2: Principle Deliverables and Update on Market Best Practices -Green Enabling Projects / SLB / SLLB / Impact Reporting** モデレーター Nicholas Pfaff氏（Deputy Chief Executive, Head of Sustainable Finance, ICMA） パネリスト Bertrand Jabouley氏（Head of Sustainable Finance, Asia-Pacific, S&P Global） Romain Munera氏（Head of Insurance – Buy & Maintain, Amundi） 平良 耕作氏（環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室 金融市場企画官） 川名 恭介氏（クレハ 執行役員 企画経理本部副本部長兼DXセンター長）
15:00	**Guest Speech 3** Adam Ng氏（Regional Lead for Asia Pacific, WWF Greening Financial Regulation Initiative）
15:10	コーヒーブレイク
15:40	**Panel 3: Spotlight on Stakeholder Code of Conduct and Initiatives for ESG Evaluation and Data Utilization** モデレーター 太田 珠美氏（大和総研 金融調査部ESG調査課長 主任研究員） パネリスト 内 誠一郎氏（Head of ETF & ESG Business Development, Invesco Asset Management Japan） 池田 賢志氏（金融庁 総合政策課長 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー） 梶原 敦子氏（日本格付研究所 常務執行役員 サステナブル・ファイナンス評価本部長）
16:40	**Guest Speech 4** 筒井 義信氏（GX推進機構 理事長 ）
16:50	**Closing Remarks / Special Announcement** Nicholas Pfaff氏（Deputy Chief Executive, Head of Sustainable Finance, ICMA）
17:00	カクテルレセプション
18:00	**閉会**

（参考）2024年カンファレンスの模様

（参考）過去の開催実績等

“グリーンボンド及び社会貢献債市場の発展-アジアの展望”
日　時：2017年11月2日（木）
場　所：虎ノ門ヒルズ森タワー5Fホール
参加者：アジアの発行会社、銀行、証券会社、
（機関）投資家、その他の関係機関、報道機関等

“日本とアジアのグリーン、ソーシャル及びサステナビリティボンド市場の発展”
日　時：2019年10月９日（水）
場　所：ホテル　ニューオータニ　鶴の間
参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等



“いかに日本の債券市場が持続可能な社会に貢献できるか”
日　時：2021年11月12日（金）
場　所：ZOOMによるウェビナー
参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等

“グリーンボンド及びソーシャルボンド市場の発展-アジアの展望”
日　時：2018年12月11日（火）
場　所：ホテル　ニューオータニ　鶴の間
参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）
投資家、在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等

“コロナ禍において重要性を増す持続可能性に貢献する債券市場の発展
－世界及び日本の展望”
日　時：2020年11月13日（金）
場　所：太陽生命日本橋ビル 26階　及び　ZOOMによるウェビナー
参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等

“サステナブルな債券による脱炭素かつ公正な社会に向けた資金調達”
日　時：2022年11月18日（金）
場　所：KABUTO ONE　及び　ZOOMによるウェビナー
参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等

（参考）過去の開催実績等

日程	**2023年10月27日（金）13時00分～17時30分（日本時間）**
タイトル	ICMA & JSDA Annual Sustainable Bond Conference 2023 -Accelerating transition with Sustainable Bonds（サステナブルな債券によるトランジションの更なる促進）-
会場	KABUTO ONE 及び Zoomによるウェビナー
共同主催者	国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association※）、日本証券業協会
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等

（参考）エグゼクティブ・トレーニングコースの概要

「ICMA&JSDA Annual Sustainable Bond Conference」の前日には、主に今後グリーン／ソーシャルボンド、トランジションボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド等の発行を検討中の発行体等の実務担当者を対象に、各種原則等の策定に深く関わる**ICMAのスタッフが講師**となり、**サステナブルボンド発行にあたっての実務やグリーン／ソーシャルボンド原則のアップデート内容等についてご紹介する「Executive Training Course」**を開催した。

日程	2024年11月21日（木）16時00分～18時00分（日本時間）
タイトル	Executive Training Course
会場	ZOOMによるウェビナー（日証協オフィスから配信）
共同主催者	国際資本市場協会（ICMA）、日本証券業協会
参加費	無料
コース内容	**（研修①）**ICMA プログラム コーディネーター　**Raymond Seager** 氏 ● 各種原則等のアップデート ● サステナブルボンドに関する実務ガイド **（研修②）**BNPパリバ アジア太平洋・サステナブル・キャピタル・ マーケット・ヘッド, マネージング・ディレクター **Chaoni Huang** 氏 ● アジアのサステナブルボンド市場における直近の動向
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等 登録者数：120名

（参考）国際資本市場協会（ICMA）について

- 国際資本市場協会（ICMA）は、欧州を中心に世界約66カ国、約600の金融機関が加盟する国際団体であり、国際的な債券市場の発展に寄与している。チューリッヒ及びロンドンに本部を置き、スイス及び英国当局から自主規制機関として認められている。
- 本協会とは2008年に業務協力のための覚書（MOU）を取り交わしており、日本証券サミット（ロンドン開催）及び年次サステナブルボンド・カンファレンスを共催している。
- また、ICMAのアジア太平洋地域事務所は、本協会が常設事務局を務めるアジア証券人フォーラム（ASF）にメンバー機関として加盟している。